

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 1 週（2024/12/30～2025/1/5）感染症発生動向調査速報値（ 2025/1/9 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **131** 人、定点医療機関当たり **2.91** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科16定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

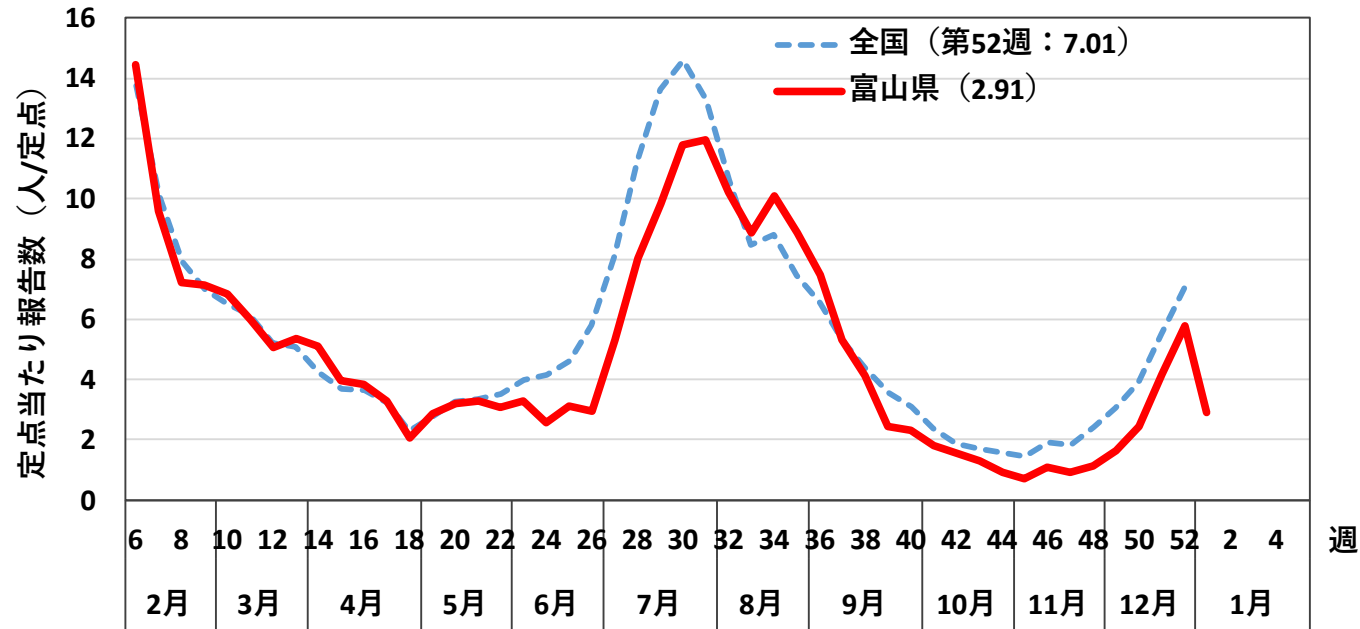
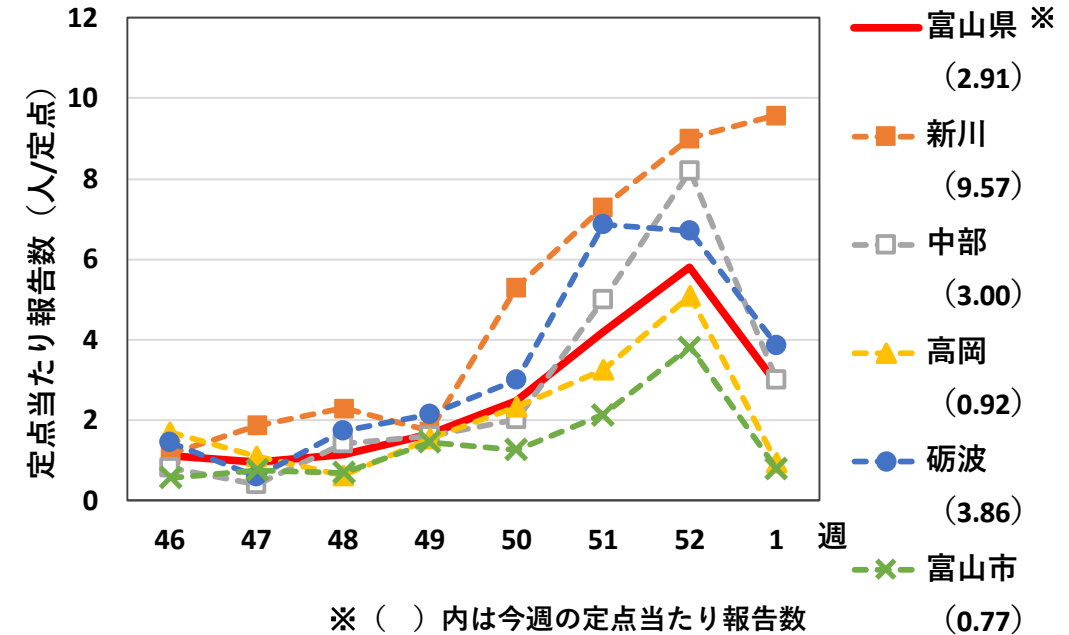


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は2.91人/定点であり、先週（5.79人/定点）から減少した（図1）。なお、年末年始に定点医療機関が休診した影響により、流行状況を過小評価している可能性がある。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、新川管内以外の全ての管内で先週から減少した。（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

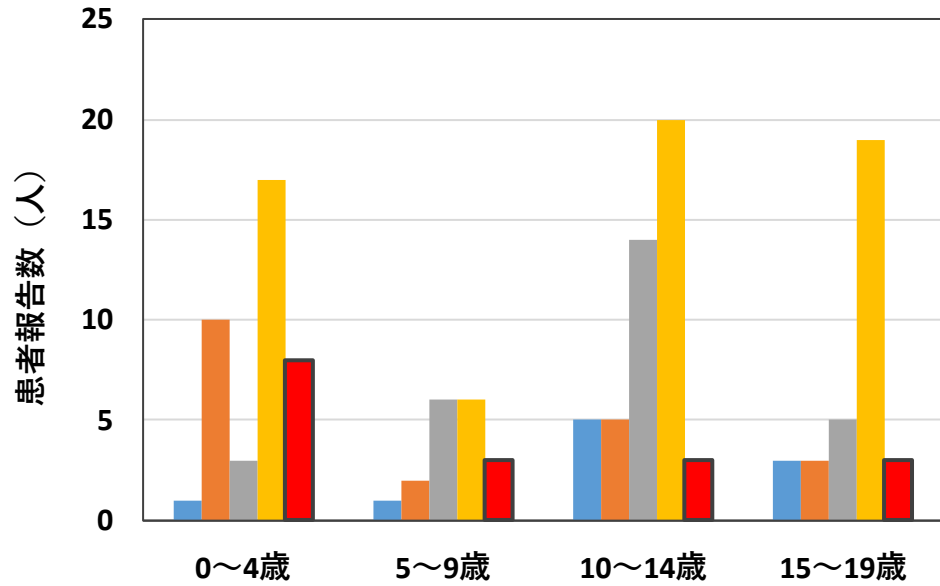
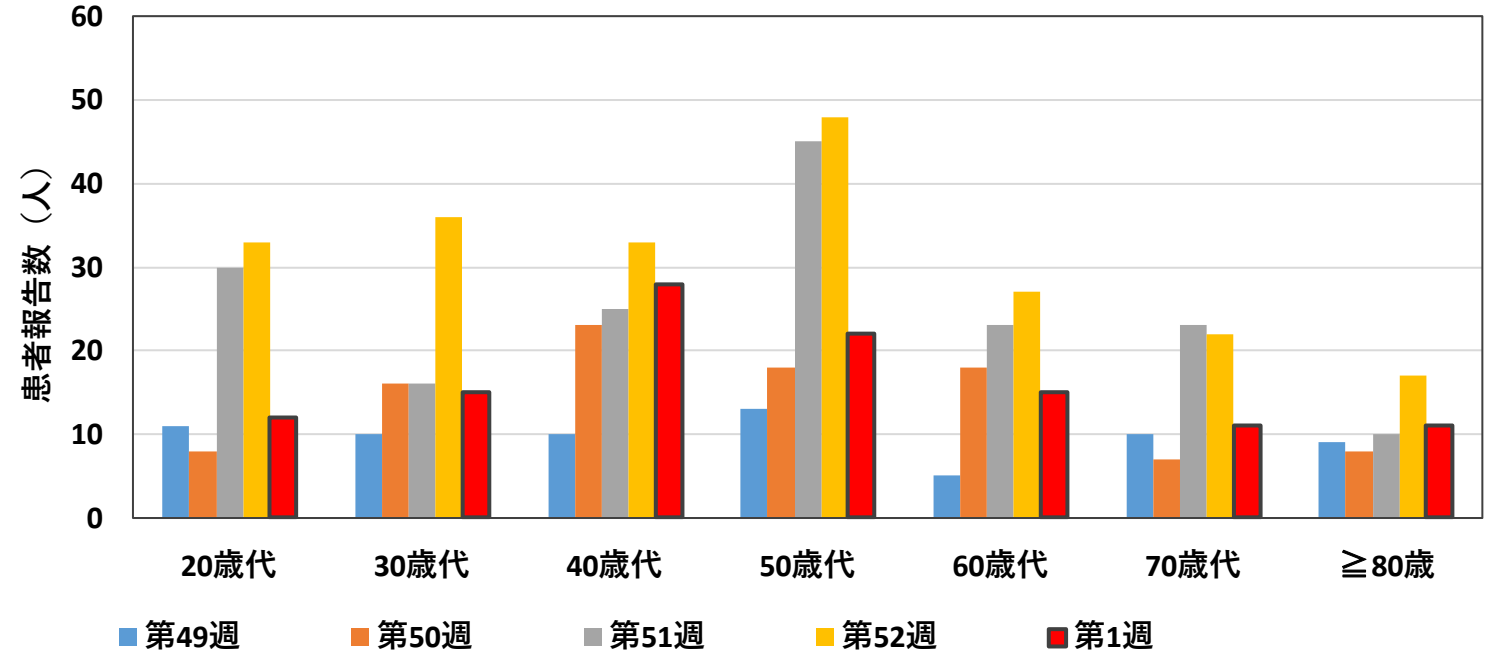


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：16定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- すべての年代で先週から減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

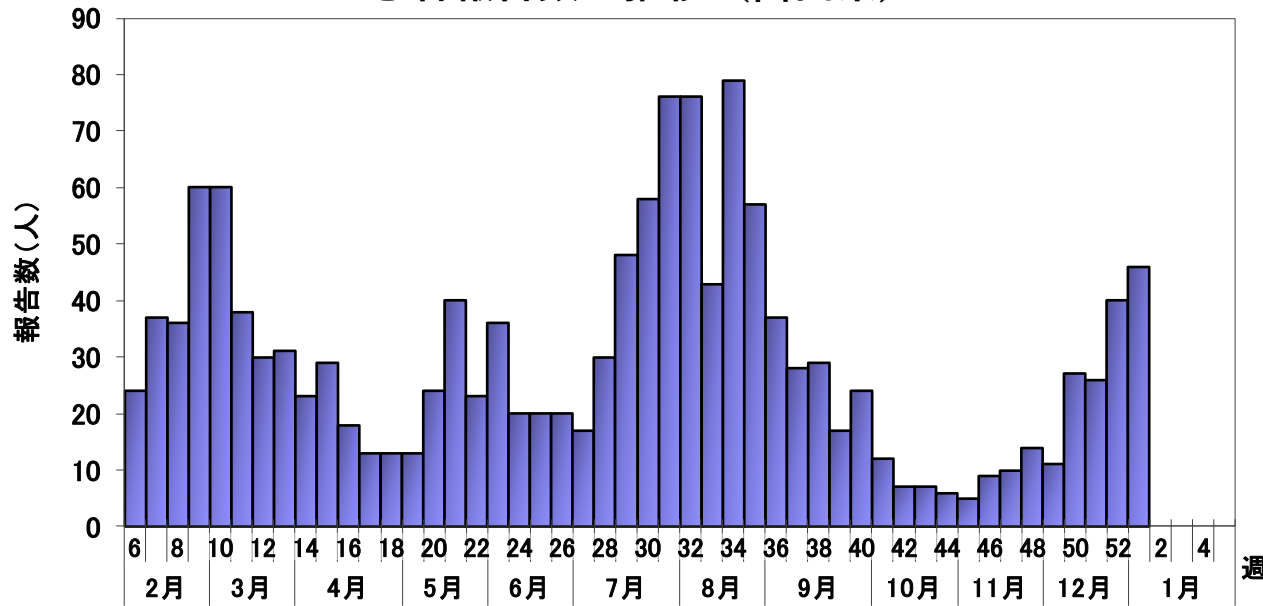
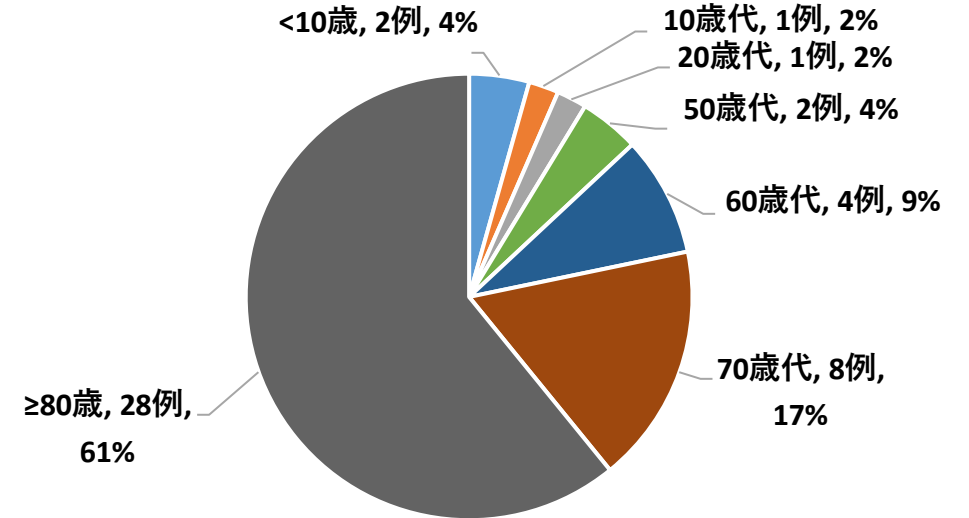


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第1週、46例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第1週に46例の入院報告があり、先週（40例）から増加した（図4）。
- 患者の年代は、10歳代、20歳代が各1例、10歳未満、50歳代が各2例、60歳代が4例、70歳代が8例、80歳以上が28例で、70歳以上が78%を占めた（図5）。
- 県内のCOVID-19の患者報告数は、第48週以降増加傾向であったが、今週減少した。インフルエンザと同様に、年末年始に定点医療機関が休診した影響が考えられ、流行状況を過小評価していると考えられる。一方、入院患者数は、70歳以上を中心として増加傾向である。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。